

ナガエツルノゲイトウの被害対策について

○ ナガエツルノゲイトウとは

- 南アメリカ原産の植物で主に水辺に生育しています。
- 繁殖力が強く、在来の水草の生息場所を奪ってしまいます。
⇒【再生力 大】数cmの茎の断片からも容易に発根します。
【拡散力 大】茎は、ちぎれやすく、水にも浮きやすいです。
【侵略性 大】乾燥にも強く、畑地などにも侵入します。
- 本県では、静岡市の巴川水系、南伊豆町の青野川水系、清水町の柿田川などで確認されています。
- 生態系や農業への悪影響の恐れがあり、「特定外来生物」に指定されています。



静岡市の繁殖状況(令和5年)



ふじのくに特定外来生物リーフレットより抜粋

○ ナガエツルノゲイトウの被害について

- 農業用水路やポンプ場の入口を詰まらせると、農業への被害が発生します。

(繁茂している場合には水路のフェンスを覆って、水路を閉塞することもあります。)

- 用水路やあぜ道経由で水田に侵入し、一旦繁茂すると、除草剤が効きにくく、防除が困難(収穫が不能)になります。

○ まん延防止対策について

【基本的な考え方】

- 早期発見・早期防除

- 粘り強い対応

⇒ 拡大力・再生力が強く、わずかに生き残った個体から再生する可能性が高いため、粘り強く対応する必要があります。

- 周囲への拡散を防止

⇒ 用水路や水田は水を介して下流域や農地と繋がりがあることから、被害を拡大させないためにも、水系として適切に管理することが必要です。

【駆除方法】

農林水産省 HP内のナガエツルノゲイトウのページ

(https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nagae.html)にある、「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」の最新版を御覧いただき、周囲への拡散を防止しつつ、早期防除に努めていただくようお願いいたします。